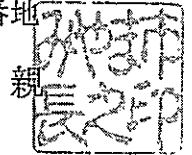


20み土第700号
平成20年10月17日

国土交通省 道路局長殿

福岡県みやま市瀬高町小川5番地

みやま市長 西，原



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

道路行政につきましては、平素より特段のご高配を賜り心から厚く
お礼申し上げます。

今日における道路行政を進めていただく中で、市町村が抱える課
題等につきまして、意見・提案を申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県みやま市

これまで、整備を進められてきた道路、公園等の都市基盤(社会資本)については、昭和40年～50年代前半の高度成長期に整備した道路等が、今、大規模補修期及び更新期を迎えております。

このような維持・管理コストの増大は小規模な市町村の財政上大きな負担となっております。現在における道路事業等の国における補助事業(財政支援)は一定の拡幅整備等に対してであり、維持・管理等においては制度上採択基準がありません。ただ、今日の地方行政の中で安全なる環境保全を図るためには、国・県等の財政支援が必要であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

福岡県みやま市

○現状

本市の道路網は南北を縦断する一般国道208・209号及び有明海沿岸道路があり、更に平成21年供用開始されるみやま柳川IC九州縦貫道路があります。現在これらの主要幹線道路と連携する県道等の整備がなされており、完成すれば広域交通網の整備が整ってきます。しかし、進捗につきましては依然として事業費の増大等による停滞現象を起こしている状況であります。

○課題

○課題 本市の主要幹線道路網は、南北縦断を中心として九州縦貫道路・国道208・209号及び有明海沿岸道路を軸として、広域交通体系が必要となっております。又新規に九州縦貫道路みやま柳川ICが平成21年春供用開始され、更なる既存の幹線道路を活用した道路網の整備が必要となってくる。市町村道においてはまだまだ集落内の道路改良や舗装整備が充分といえず、又、弱者対策の歩道が充分確保されておりません。このような身近な市町村道の利便性の向上と安全性の確保が望まれております。

②-2 地域の目指すべき将来像

福岡県みやま市

広域道路網の整備として、主要国道・九州縦貫道・有明海沿岸道及び県道とのつながりをスムーズにする幹線道路の整備を推進し、地域の利便性の向上や地域の一体化を図っていき、地域における人と物の流れを活性化するため、広域及び周辺地域との地域連携道路の整備を推進し、道路ネットワークの形成を図っていく必要がある。又、安全で人に優しい生活道路の整備としては、高齢者、子供、障害者等に配慮した歩道等のバリアフリー化など人に優しい道づくりが必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福岡県みやま市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
(例) ・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・ ・ ・ ・ ・	○地域活力の向上 平成21年春九州縦貫道路のみやま柳川ICの供用開始 ○生活道路の向上 身近な生活道路の整備	ICの完成と供に恵まれた道路網と高速交通道路網を連携することで、福岡都市圏と熊本都市圏の中間に位置した南筑後の交通の要衝として発展する可能性が大である。今後は、広域的な道路網を活かし、地域の利便性の向上や地域内に人、物、情報が活発になり本市の活性化につながる。 本市の生活道路は、道幅が狭く改良が必要であり、集落内の道路改良や舗装整備が必要である。又、市町村道では歩道が十分に整備されて無くバリアフリーを進めて行き、身近な生活道路である市道の利便性の向上と安全性の確保が望まれる。	